



銅像山通信

第
26
号



撮影：古梶裕之校長

浅野学園同窓会会報

2023年度版

発行日：2023年12月1日 発行人：浅野学園同窓会

ご挨拶

同期は一生の宝



浅野学園同窓会
会長 湧井 敏雄（45期）

パンデミックの脅威が残る中で、昨年来のウクライナをめぐる紛争は着地点がいまだ見いだせず、国際環境はどちらかといえば協調から対立へ、安定化から流動化へと基調が変化しつつあるように見えます。一方、国内では少子高齢化が進むとともに、国の台所である財政はひっ迫の度を加え、日本の体力が衰えつつあるのではないかと、といった漠然とした不安が広がっています。「先が見通せない」状況は、「終身雇用」や「ケイレツ」といった、長期的に安定した関係を基盤としてきた日本の社会を、根底から揺るがすことになりかねません。

しかし、このような「先が見えない」状況は、石油ショックやバブル崩壊、金融危機などの際にもあったわけで、今回が初めてというわけではありません。しかも、それぞれの事態はすべて克服されてきました。これは、適切な政策もさることながら、当事者各々が情報を共有し、譲るべきところは譲り、協力し合ってきたからで、決して「弱肉強食」で勝者のみが生き残ってきたわけではありません。

協力し合うには、情報の共有はかかせません。同じ情報に基づいて下す合理的な判断は、自ずから、同じ情報を共有する者がおおた納得する妥当なものになります。しかし、その判断の質は、寄って立つ「情報」の質に依存します。利害関係のある先からの情報は「良い情報」とはいえませんが、なんの偏りのない、まっさらな「情報」は、損得が絡む「利害関係者」からは得られません。互いに損得のない信頼できる友人を多く持つことが、こうした時代を乗り切る必要条件であるかもしれません。

そして、われわれ浅野のOBは、在学中は6年間の学園生活で人柄まで熟知した「同期」という素晴らしい友人を得たうえに、卒業と同時に、浅野のOBであることで、年次を超えて利害関係が全くない友人を豊富に持つことができます。「同期会」だけでなく、全年次をカバーする「同窓会」の活動が必要である所以です。

「同期会」は同窓会活動の基盤です。各期で、例えば「成人を祝う同期会」や「卒業10周年記念同期会」など、周年の同期会を企画する際には、ぜひ同窓会の「親睦委員会」にご一報ください。できる限り支援させていただきます。ご連絡をお待ちします。

変わりゆくもの



浅野中学校・浅野高等学校
校長 古梶 裕之（61期）

卒業生の皆さん、こんにちは。お元気でお過ごしでしょうか？ 本校では5月に新型コロナウイルスが5類感染症に移行したことを受け、感染予防対策を大幅に緩和しました。以前に戻るところと、コロナ禍の間に大きく変わったこと、変えたことがあります。

①体育祭の中・高分離実施、5月開催。

コロナ禍での密を避けるために、体育祭を中・高分離したところ、待ち時間が大きく減り、生徒にはとても好評でした。開催時期も熱中症や台風の影響を避けるために5月に移しました。これまで文化祭とあまりにも近いことも課題でした。総合文化祭の開始から40年が過ぎ、新しい形でのスタートです。生徒達が育てていく行事にしたいと考えています。

②高校三年の8クラス体制。

高校二年までは6クラス体制です。高校三年は7クラスから8クラスの体制としました。クラス人数を減らし、きめ細かい指導で、生徒の志望を叶えるようにします。

③中学の英数クラス廃止。

英数クラスは1980年に導入されました。近年、全体的な学力が向上してきたことから、中学3年間を均等なクラス編成として丁寧な指導をめざします。

④皆勤賞の廃止。

コロナ禍で“体調がすぐれなければ休む”という考え方が標準となりました。皆勤賞は立派ですが、狙って獲るものでもありません。自分で体調を管理して休む判断は大切です。そういう考え方の変化を尊重し、皆勤賞を廃止しました。

⑤研修旅行での飛行機利用。

卒業生の方の多くは、高校の研修旅行（修学旅行）で九州まで新幹線に乗った、あるいは、広島からブルートレインで帰ってきたという記憶がおりだと思います。昨年度の研修旅行から、九州との間の移動は飛行機を利用することとしました。

他にも、高校を一年間休学して個人留学する場合、復学する際に元の在籍学年に戻ることを可能にしました。

通り過ぎた日々を想う時、そこには様々な思いが去来します。その一方で、学校はいつも前に向かって進んでいかなければならないとも考えています。変えた方がよいところは変えてゆきたい、そうやって学校を成長させていこう、と考えています。

浅野中学校・浅野高等学校の近況報告

2022年度 部活動 活動報告



部活動は学園生活を豊かに広げ、心身を鍛える絶好の場です。活発な活動を通して、生徒たちは自らの夢と可能性に挑戦するために、体力的鍛練・学究的努力・技術的修練・精神的陶冶を重ね、リーダーシップや協調性・判断力・ルールの意味などを学んでいます。

浅野学園の進学指導・進学実績



昨年度の卒業生は高校生活3年間をコロナ禍で過ごしてきた学年で、授業・学校行事・部活動・日々の生活いずれの場面でも多くの我慢を強いられました。そのような中でも懸命に努力を重ね、昨年度も多くの本校卒業生が難関国公立大学・私立大学に挑みました。まずは困難な状況に立ち向かい続けた卒業生諸君に敬意を表したいと思います。

メディア露出

①2022年9月6日(火)、浅野中学校・浅野高等学校に来て取材をされた凹沢みなみ先生の漫画『かしこい男は恋しかしい』が『別冊マーガレット』で連載されています。この作品の中に出てくる校舎・風景は「どこかで見た景色」になっています。



②2023年6月25日(日) NHK BS1にて放送
NHK『奇跡のレッスン』がこの春、本校サッカー部にて収録されました。最強コーチは元日本代表監督のハンス・オフト氏です。日本代表の森保一監督も出演されました。

③2023年8月8日(火) 22:00~22:45にNHK Eテレ『先人たちの底力 知恵泉』で「浅野総一郎 眠っている価値を見つけ出せ」が放映されました。



校内写真

2023年度 浅野学園同窓会 総会・懇親会

日時 2023年6月10日(土) 会場 ローズホテル横浜



佐藤親睦委員長より 総会・懇親会の感想

今回の懇親会は、まず司会に48期卒の元フジテレビアナウンサーの堺正幸氏を迎え、格調高く、スムーズな進行をしていただきました。

また、エンターテインメントは、初めに原副会長のお知合いのジャズプレイヤーである海野あゆみ様・悦子様親子デュオ演奏で会場が盛り上がり、その後さらにサプライズゲストとして、クレイジーケンバンドの横山剣様が登場し、懇親会の会場は、正にコンサート会場のような熱気に包まれました。

横山様のゲスト出演に関しましては、50期卒の八木弘之氏(現在、本牧にある「IG」<イタリアンガーデン>というBarのオーナー)が横山様のデビュー当時から、その活動を支え

てきていた縁で出演していただく事となりました。

このように今回の懇親会は、多士済々の卒業生協力のもと、無事に開催できました。

我々、親睦委員は100年以上続く浅野学園卒業生として、各年代との繋がりを更に広め、深める事を活動の柱とし、卒業生の幅広い交流の場を提供していく所存です。

引き続き、宜しくお願い致します。

親睦委員長 佐藤 義賢(52期)



同期会報告

50期同窓会

我々 50期卒業生は、浅野卒業50年を記念して同窓会を開催しました。まずは、提案者からの意思に賛同する各クラス1名の幹事を選出し、5カ月をかけて電話連絡主体での連絡先の確認を行いました。130名近い連絡先がわかり、当日は83名の参加がありました。会場は横浜中華街四五六菜館別館。卒業50年の間、クラス単位や部活動、気の合う仲間の小グループがいくつもできていることは把握していました。ここでも、現在でも続いている浅野生の《つながり》を確認できましたし、連絡する際にも大きな役割を果たしてくれました。卒業50年ともなると、担任が誰であったかも不安になり、担任名を確認するにも学校のお力をおかりしました。これまでも2～3度50人規模の集まりはありましたが、全体に声をかけて行うのは初めてでした。

50年ぶりの再会の方が多く、異様な盛り上がりもありました。次回は、3年後に開催することが決定しました。

今回の会費で残ったお金22,270円は学校に寄贈し、同窓会の奨学金に役立てていただくことにしました。

前田 渉 (50期)



65期同窓会

2018年10月の開催以来、約5年ぶりとなりましたが、卒業35年の節目であり、またコロナウイルス感染症の5類感染症への移行を受け、5月27日(土)横浜中華街 華正樓新館にて大同窓会を開催しました。同期63名(+1名は散会後合流)が集い、そして卒業時に学年担任であった恩師4名(田中賢一郎先生、阿部義広先生、前田渉先生、平山与八先生)に加え、特別ゲストとして漢文の恩師である石本道明先生(現國學院大學教授)にもご参加いただきました。次回5年後の開催を全員

が固く約し、盛会のまま散会となりました。

同窓諸兄、諸君も是非。 西田 慎也 (65期)



曾我先生&松岡先生お疲れ様会

永く吹奏楽部の顧問を勤められた「松岡先生」「曾我先生」の慰労会を2023年8月5日ALEGRIA横浜で吹奏楽部卒業生有志にて実施しました。私が中一時に松岡先生が就任され、凄いオッサンだと思ったのですが、今では少しスマートになり、却ってお若くなっている感じがしました。曾我先生は私の高三時に赴任されたので、ご指導いただいたことは無かったのですが、音楽家にご指導いただけるようになった後輩達は、とても幸せだったと思います。猛暑の中での開催でしたが、曾我先生のひんやりとした会話は変わらず楽しかったです。

吹奏楽部で続いている年に一度の定期演奏会。実は

第三回から始まったという衝撃の事実が大先輩から写真と共に明かされました(笑)。卒業したばかりの学生、ミュージシャンになって活躍されている方、社会人で音楽を続けている方、ちょっと音楽から遠ざかっている方、そして30年という月日をご指導いただいた先生方と楽しいひと時を過ごしました。 川島 研斗 (61期)



同窓生の近況



元NHKアナウンサー
秋山 士郎 (22期)

私は、倶楽部活動で、物象班（今の科学部）と絵画部に籍を置き、先生方に変にお世話になりました。部活に熱心なあまり成績が下がって、浜野先生や黒川先生にお説教されたりしましたが、後年NHKに入り、PTAで講演を依頼されたり、NHKラジオ『朝の訪問』の番組で、年末に「小倉百人一首」にまつわるお話を石田吉貞先生に伺ったりしました。放送がすんで、浜野駿吉先生から「今朝の放送は大変良かった」とお褒めにあずか

り「先生から褒められたのは初めて」と申し上げたこともありました。

浅野出身でアナウンサーになった方が大勢おられ、これも校風に関係あるのか不思議に思っています。ただ、お会いしたいと思っていた先輩方が他界されたのが心残りです。「自転車行軍」の資料が全くありませんので、ガイドをまとめられた盛長海先生には申し訳なく思っています。今後ともよろしくお願い致します。



アマチュア無線技士
野田 隆志 (28期)

学校では生徒会自治会の放送部で活動しました。B組 山田通一郎君、武藤君、A組 私野田が技術担当、C組 藤波君がアナウンサーとして活動しました。当時の本館2階の東端が物理教室で、その準備室に放送機を設置し放送室としました。各教室にスピーカーを設置し、廊下を通して配線しました。この工事は全て私たちが行いました。放送時間は毎日昼休みの最初の時間とし、自治会からの連絡を主に放送したと思います。運動会などの時は放送機を外に持ち出し必要な所にマイクを

設置し、ホーンスピーカーを数本、ハウリングを起こさず校内の必要な所で放送が聞こえる様に設置しました。これは大変難しく、いつも前夜遅くまで掛かりました。（中略）日本にアマチュア無線が許可されたのは私が大学に入学してからで、昭和27年9月期の国家試験で資格を取り、昭和28年6月にアマチュア無線局JA1FYを開局しました。浅野では早い方かもしれません。アマチュアの資格は国内ではアマチュア無線技士、アメリカではエクストラクラスを取得しています。



元フジテレビ アナウンサー
堺 正幸 (48期)

「まもなく終点東京です。本日もJR東日本をご利用くださいますと有り難うございました。」JR東日本車内アナウンスの声を担当して40数年になります。浅野を卒業して52年、ここに至るまでの原点は入学した時に始まりました。中学1年の時、仲良くなったクラスメートが放送局（生徒会直轄）に入るというので一緒に入局しました。アナウンス活動をしている内にアナウンサーという職業に憧れを抱き、大学卒業後フジテレビにアナウンサー職で採用されました。入社7年目の時、翌年

開業する「東北・上越新幹線車内アナウンス」の録音依頼がアナウンス部にあり、当時の上司が鉄道ファンの私を推薦してくれたのです。以降「山形・秋田・北陸の各新幹線」に加え、在来線特急「成田エクスプレス」「踊り子」「あずさ」「わかしお」等数多くの路線を担当させていただいています。

2024年3月、北陸新幹線が福井県の敦賀まで延伸開業します。ご乗車の折りは、浅野の卒業生が「車内アナウンス」を担当している事を思い出していただければ幸いです。



株式会社モリヤマ・天然温泉満天の湯 代表取締役
森山 元明 (52期)

浅野学園の思い出は、中学受験に合格した時の喜びと、6年間たっぷり楽しめたことです。勉強は全然しないし、部活はどれも中途半端。学校を離れれば悪いことをいろいろ経験し、入試の簡単な大学を5年かけて卒業、不動産業を経て実家に戻されました。実家は保土ヶ谷の地場産業、捺染業を手広く行っており、不動産もあちこちに持っていました。繊維業が斜陽となり、バブルが崩壊し、引き継ぐ頃には莫大な借金と儲からない工場

だけ。与えられたのは染物に利用した豊富な湧き水と、水を求めて掘った結果、温泉が出てしまった失敗作の温泉水。これが財産になりました。売れるものはすべて叩き売って造ったのが、天然温泉満天の湯！ 大事に大事に育てて、コロナの中でも集客を落とさず、コロナが落ち着いた今はコロナ前より沢山のお客様に支えられ愛されております。温泉、サウナ、お食事、あかすり、リラクゼーション。どうぞ一度お試しください。



株式会社SUBARU
アイサイト開発リーダー
樋渡 稔 (56期)

私は、浅野高校から編入し卒業、日本大学理工学部を経て、自動車の（株）SUBARUに入社しました。「ぶつからないクルマ？ アイサイト」をご存知でしょうか？ 世界初のステレオカメラによる運転支援システムです。私はこの開発のリーダーとして30年掛けて開発しました。開発以降、頻繁に講演を依頼されます。どこへ行っても、なぜ諦めずに続けられたのか、から始まり、理工系離れ、日本初の技術が生まれない。では、どうす

れば良いのか？ と相談を受けます。私は世界のトップを調べ、自分の今の立ち位置と比較し、そのギャップをどう埋めるのかを考え、ひたむきに開発を続ける、と答えます。続ける事で自分の「軸」が少しずつ見えてきます。そしてその後、大きな「将来ビジョン」が描けるようになります。こう言う思考回路は浅野時代に身に付いたと思います。浅野翁の意志を引き継ぐ我々は、日本の技術力で世界に貢献する存在になりたいものです。



株式会社風間印房
代表取締役

風間 秀規 (57期)

昭和55年に卒業し、卒業祝いとして印鑑を頂きましたが、印鑑をもらっている卒業生は多いと思います。それを実印や銀行印として使っていませんか？ これは社会に出た時、生活の中で「認印」として使うように贈呈されたモノなんです。その印鑑の使い方によって大きく人生を左右する事に気づいたのが数年前でした。私がハンコ屋の二代目として後を継ぎ、10年前には「開運印鑑」専門店として、多くのメディアにも取り上げられるようにもなりました。そして昨年『人生がうまくい

く人、いけない人の『開運』ハンコの秘密』という本を出版しました。その中にも書きましたが、苗字だけのハンコはただの認印で、フルネームが入ったモノを実印と言います。もちろん、銀行も本来はフルネームが正解です。それ故、認印を実印や銀行印に使っていると出世は愚か人生がうまくいかない人が多い事を実感しました。逆に出世した、成功した方々がほとんどフルネームの太い印鑑を使っている事も事実です。若い卒業生には、早く卒業記念印からの卒業を期待しています。



日本ゴルフツアー機構
専門競技委員

吉川 泰正 (61期)

大学卒業後に就職しましたが、平成元年といえバブル期。接待ゴルフが出来るように練習しなさいという先輩の言葉に従いゴルフを始めました。あっという間にゴルフの虜になりそのままプロになるために退社して研修生に。トーナメントには出られませんでした。その後レッスンの道に入ると同時に日本ゴルフツアー機構の協力競技委員という仕事でツアーに携わることになりました。現在、レッスンは細々と続けていますが、専門競技委員がメインでツアー会場を飛び回っています。

競技委員という仕事、英語ではRules Officialです。仕事内容は試合中のルールトラブルの対処、選手のプレーのペースの管理、荒天時の中断や再開の判断、ホールロケーション（ピンの位置）の決定、コースセッティング等です。テレビの生中継で注目選手のルーリング（ルールトラブルの対処）はさすがに緊張しますね。間違えるとすぐに炎上しますから（笑）。最近はAbemaTVでの中継が多く、常に生中継状態です。皆様、是非ツアーを生で見に来てください。お待ちしております。



人形工房はやしや 代表
小林 誠 (62期)

1985年に卒業後、早稲田大学商学部在学中に日本の伝統文化に惹かれ、家業である林屋人形店（雛人形や五月人形の販売）に入社しました。人形を取り扱う中で、その奥深さを知り、人形制作を一から学ぶため職人の下に弟子入りしました。時が経ち店頭で自分の作ったお顔の人形が並ぶようになり、令和元年に「かわさきマイスター」に選出されました。

現在、人形の素晴らしさ、節句文化の大切さをお伝える活動も行っております。また夏限定で「けずり氷はやしや」としてかき氷の提供も始め、

多くのお客様に足を運んでいただき、人形鑑賞を楽しんでいただいております。浅野の先生やOBの方々にも来店していただき、懐かしき浅野談議に花が咲いております。私に特別な才能があったわけではなく、教えられたことを何万回と繰り返して技を習得していきました。不器用でもあきらめず積み重ねること、それが才能なのかもしれません。これは浅野の授業で叩き込まれたのだと思います。40代まで関谷先生の授業の夢にうなされるという後遺症はありましたが（笑）。



医療法人社団八洲会
あしがら西湘歯科診療所

木森 久人 (74期)

浅野を卒業後、鶴見大学を卒業し長野県飯田市、新潟県長岡市と渡り歩いて現在は神奈川県足柄下郡湯河原町で歯科医院を開業しております。歯科医師となって18年目となりますが、一貫して在宅歯科医療を専門としております。家で歯医者ができるの？ とよく聞かれますが、当診療所では「食べよう、喋ろう、笑おう」をキャッチフレーズにご自宅でも虫歯の治療、歯周病の治療、入れ歯の治療など外来でできる治療のほぼ全てを行っております。しかし、歯科医師の目的は歯科医療をす

ることではありません。公衆衛生の向上増進、そして国民の健康な生活確保が目的であって歯科医療はその手段の1つでしかないのです。健康なお口を取り戻したあと、どう生活していくか。そのための歯科医療、それを提供できる歯科医師であろうと精進の日々です。

湯河原は山と海に囲まれ自然豊かで、都会からも近いとても素敵な土地です。ぜひ皆様も足を運んでみてください。きっとお気に入りの場所が見つかるはずです。



ウクライナ家庭料理店
The Faina オーナー

菊地 崇 (89期)

遡ること10年前。20歳だった私は人生の伴侶であるウクライナ人の妻と出会いました。心臓疾患の疑いをきっかけに、航空業界を離れた私は、彦根で教育事業を立ち上げている最中でした。彦根移住の数カ月後、ロシアのウクライナ侵攻が始まりました。そして妻の家族を日本へと避難させる決断を下しました。避難後は、新たな土地での生活に対する不安や心配に苛まれる中、どうにか未来に進むために、妻の家族と共に、昨年5月、ウクライナ料理のキッチンカーを開始するという大

きな決断を下しました。今年5月、彦根城の城下町に実店舗をオープンするまでに成長させることができました。そして、新たな挑戦として、ウクライナのITエンジニアたちと日本の企業を結びつける仲介のプロジェクトを進めております。ウクライナの経済は戦争の影響で疲弊しており、私はこのプロジェクトから、その改善の一翼を担いたいと考えています。私が、常に前を向き、挑戦できているのは、浅野学園で培った九転十起の精神のおかげです。

同期会開催等について

浅野学園同窓会では、各同期会の開催を応援しています。

【同期会開催の注意点】

各学年の同期会開催に当たり、開催のお知らせ・報告を、SNS・会報誌等に掲載することができます。またフェイスブックグループ「銅像山通信」への掲載は各幹事よりお願いできればと思います。

【住所変更登録のお願い】

住所等の変更が判明した場合は、ご本人様から浅野学園同窓会ホームページに名簿変更の申請をさせていただきますよう宜しくお願い致します。



会費について

日頃は、浅野学園同窓会の会務運営に際しまして、会員の皆様方の多大なるご理解とご協力を賜り、心より感謝致しております。この場をお借り致しまして、深く御礼申し上げます。

当会の年度会費並びに終身会費は約30年以前の改定以来、数次の消費税増税や郵便料金値上げ等にもかかわらず、長年会費を据え置いたまま運営をして参りました。しかしながら、将来にわたる同窓会活動におい

て、不可欠といっても過言ではない、健全な財務基盤の維持を図るべく、2023年度より会費の改定（年度会費：2,000円→3,000円、終身会費：21,600円→36,000円）を実施させていただいております。会員の皆様方におかれましてはご負担増となりますが、諸般の事情をご賢察いただき、ご理解をいただくとともに、引き続きご支援とご協力を是非賜りたいと存じます。何卒宜しくお願い申し上げます。財務委員長 西田 慎也（65期）

【年度会費 お振込先口座の追加について】

2023年度より、下記金融機関を追加致しました。お振込の際は、振込依頼人名を「卒業年（西暦）+お名前」としていただくと、大変助かります。宜しくお願い致します。

横浜銀行 大口支店 普通預金 1642590

同窓会の部屋

「一世紀を超える浅野の歴史は人材輩出の歴史」と銘打ってから、2回目の同窓会の部屋を9月17日（日）、18日（祝）の第44回打越祭にて開催しました。



今回より、卒業生の浅野での思い出、近況を紹介したパネル展示を行い、在校生並びにご父兄をはじめ大勢の卒業生にもご覧いただくことが出来ました。来年もより多くの卒業生の皆様を紹介したく存じます。

これからもたくさんのご協力を賜りたくお願い申し上げます。総務委員長 村椿 泰彦（56期）

編集後記

今回のOB近況報告のコーナーでは、フェイスブックグループ「銅像山通信」に投稿のあった卒業生に執筆を依頼しました。また25号を見て原稿を送ってくださった卒業生もおられます。このように、卒業生の輪が少しずつ広がってくるのは嬉しいものです。これからも皆様からの情報をお待ちしております。

<http://www.douzouyama.com/contact/>
フェイスブックグループ
「銅像山通信」



広報委員長 星 淳一（59期）